

## しりべし i システム事業スタッフ研修会「山崎啓太郎氏 講演録」

株式会社プリオンデ代表取締役  
EBETSU SECOND PROJECT 代表  
令和元年 11 月 12 日(火)  
後志総合振興局講堂にて

### 【第一部 江別市での取組み】

江厚別町の副町長をしています山崎啓太郎と申します。札幌市生まれです。札幌市厚別区で育ちました。今は江別市の文京台に住み、子供が二人おります。グラフィックデザイナーの仕事をしています。ロゴ作成を始め、二次元の物を何でもやっています。

また子供の貧困、大変な立場にいる子供達を応援しようという活動でブックカバーをデザインし、札幌市内のコーチャンフォーで小説とか買うとこのカバーがついてくるというのをやっています。当初 1 万部の作成でしたが好評を頂き更に 1 万部増刷致しました。

2019 年版北海道、道の駅スタンプラリー帳もデザインさせて頂きました。

これから江別市での活動をお話させて頂きます。

2011 年に札幌から江別市へ引っ越しました。最近、江別では 60 年ぶりに熊が出て大騒ぎになりましたが野幌森林公園もあり環境豊かな町です。しかし少子高齢化が進んでもおり、江別が盛り上がりれば、もっとという僕が住んでいる文京台という所が盛り上がりれば人が増えるのではないかと考えていました。

それで 2016 年江別セカンドプロジェクトを始めました。ロゴマークも作りました。このロゴマークはある建物をイメージし「江別市役所はファースト、僕たちはセカンド」というスローガンでやっています。

第二市役所という位置づけで勝手にやっています。というのも役所は予算、時間、諸事情、公平性の担保など色々あります。しかし今このタイミングでこういうことをアピールしないと遅いとか、これは行政では出来ないということがあります。それを僕たちは出来る範囲でやっています。メンバーには主婦や農家、語学教師とか色々な方がいます。

活動は例えば、札幌市のチカホに江別市の動画を撮り編集し流しています。ここは無料なので誰でも流すことが出来ます。

あと、協力隊の協力隊という活動もしています。隊員は基本的に違う町から来ていますので町のことを知らない。友達を紹介したり様々なアドバイスをして支援しています。

町の賑わいづくりとして商店街にターンテーブルを持っていき DJ イベントを開催し市民が持ち込んだレコードをかけることもしています。

江別は札幌市の隣なので便利ですが「のどか」なところあり、1週間に1度しか来ないバス停を紹介したり、クスッと笑えるお爺ちゃんの居酒屋メニューを紹介したりもしています。

さきほどのDJイベントでは市内の飲食店、江別蔦屋書店、商業施設 EBRI でも行いました。行政職員の方々にも積極的に参加してもらっています。

俳優の大泉洋さんが江別市出身なので大泉さんの映画にちなんで「先生はBARにいる」という企画。市内いる様々なジャンルの先生を呼んで、飲みながら学びという飲み会を定期的に開催しています。

ながら、要は飲み会ですが、飲み会を定期的にやっています。

「with～人」というこれも飲み会なんですけど、札幌市とか色々なところからトップランナーをお呼びしてお話を聞く。例えば札幌市役所の円山動物園をさせた方をお呼びしてお話を聞きながら「江別どうしたら良いですか?」「どう思いますか?」って意見を伺います。その意見をWEBページに掲載し、町を考えるきっかけになるのではないかとやっています。その流れで、当時大人気のユーチューバーが江別に来てくれることとなり第一市役所中心にパズドラの大会が江別で行われ動画を色々な方に見て頂いたということもありました。

江別でこうした活動をしているなかで江別の人も厚別の人も買い物へ行く場所や行動は似通っていることが分かりました。それで合体したら良いんじゃないかと思ったのです。

それで2017年、ご存知の「江厚別町」が誕生しました。120番目の町です。

役職を付けて得意分野で役職付けて活動しています。農家さんが農業振興課長です。

町が出来たので名刺も作りました。町が出来ると「町章」をデザインする機会が出来ます。マップも作りました。緑の所が江厚別町です。色々施設も有ります。真ん中に白い所があるのですが、ちょっと坂を上っていくので森林公園ヒルズと命名しブランディングしているとしています。ロゴが出来たのでグッズも作ろうとTシャツやスマホケースを作ったりしています。公報誌を作りたいので「広報江厚別」を作りました。市町村の広報ってデザインの的にカッコ悪いのが多いのでちょっと尖っているのを作りたいと思いました。

仮想の町なら作れるということで公報誌を作りました。ただ中身を作るパワーが無いので表紙だけで雰囲気を出しています。

これらが札幌市の景観事業に取り上げて頂いて、お前ら、良いじゃないか、面白そうじゃないかということで札幌市の景観のイベントをさせて頂きました。札幌市のイベントに江厚別という言葉を入れてもらうという感激的なイベントになりました。

それでは江別の野菜を売ったり、江別のクイズをしたりと札幌市で江別市を紹介出来るよいきっかけとなり、僕らの活動が新聞等に取り上げて頂きました。

去年、地震で江別も停電になったのですけれど、節減対策展というのをしました。停電した直後に、僕らで30分かけてロゴを作った。電球と節電対策。

「江別からでもちょっと発信して行こうぜ」とこれを色々な SNS で発信したらその日だけで 2 万人に見て貰えました。江別市内の中でちょっと盛り上がりました。皆でちょっとやっ払いこうぜと言う感じになったので、次は協力隊の方々の協力も頂き全道、色々な団体、会社、町にお願いし、市町村だったり、大学だったり賛同いただきロゴの所が大学なったりとか、札幌中央区だったりとか色々なバージョンを作りました。

とういわけで僕らが活動していくことで大事にしているのは、江別は札幌が近いので「何もない」と悲観することも多くあれも無い、これも無い、お金もない。でも面白ければ何でもある面白がり方が大事だと思っています。

あと、無理をしないことです。お金の失敗が一番へこみ仲も悪くなってしまうのでお金の失敗をしないように何でも最初は小さくやります。

例えば、コンサート。ライブをしますといっても「お客さんが二人しかきませんでした」でも良いと思っています。「やった」という事実が大事で「僕、ライブやったことありますよ」で言えるじゃないですか。でも二人しか来ませんでしたと言わなきゃいい話で実績をどんどん作っていくことが大事だと思っています。

自分でデザインやっていて良かったなと思うのが、今はベトナムへ長期出張中の町長がアイデアマンで「これ、おもしろくない〜」ってよく言うんですよ。だけど、皆いいね〜面白そうだね〜で終わってしまう。これってよくありますよね。飲み屋さんとかで、いいアイデアだね〜ってそのまま終わっちゃうケース。

これって目に見える形にしないと進まないし、とにかくアウトプットです。デザインするんです。何でも良いのです。FB ページ立ち上げるだけでも良いし、なんかロゴを手掛けるだけでも良いし。とにかくやり進めることが大事です。結果続かなかったら放置しておけば良いんです。FB ページ、たぶん使っていないのが 50〜60 くらいあります。

僕はデザインをやっていたのでロゴでだったり、何かを進める時に役に立てているかなと思います。

江別の良いところは便利に事欠かないということ。

札幌と江別と二拠点でやっていますがだんだん札幌に居ると疲れるようになりました。

札幌が辛くなってきて、江別に帰ってくるとホッとします。飲み会やっても札幌はおしゃれな人ばかりで気が張るんです。江別だとリラックスします。人口規模は厚別区と同じくらいなので楽しい人、凄い人と繋がりやすい。札幌に居た時は全然わからなかったのですが江別では身近に、楽しい方、凄い方がたくさん居るんです。札幌だと人が多すぎて 190 万居たら全然繋がらない。

あと、違いは札幌は誰かがやってくれる。あんなに人がいるから。デザインも誰かがやってくれる。でも江別ではデザイナーは少ないので誰かがやらなきゃいけないという使命感が

持てる。江別で色々と活動していると友達がどんどん増えていきます。そうなるとその町で住んでいることが楽しくなって、どんどん自分のまちが好きになるという好循環が生まれてきます。

ということで僕は小さいことから良いので、好きなことをやりたいことがあったらどんどんやりましようと思っています。それに行政の方も市民の方も協力隊の方々も皆、市民です。市民ってそこで暮らしている人ばかりじゃなくそこで活動している方も市民なので行政だから出来ないではなくプライベートではやっても良いと思っています。

江別市にある広報全部デザインしたいという夢はあります。やりたいことを逆算してやるということは大事です。

DJ イベントを開催しているのも本当は DJ イベントのフライヤーをデザインしたいのです。準備は面倒ですがそれをやるとフライヤーを作るチャンスができる。自分のやりたいことを逆算してその機会を作る。そうしないとやりたいことが出来ないからやっています。

質問) 今、取り組んでる色々なものをもう 1 度お願いします。

応答) 動画とかここに書いていなこともたくさんやっていますが分かりやすものを持ってきました。

協力隊の協力隊も別に協力隊のロゴを作ってくれとは誰にも言われていないですけどこの勝手のロゴを作りこれを使ってくれとアピールして持っていきます。この下のレコードジャケットは彼らが曲を作りたいと言ったので、よしジャケットをデザインしようということでデザインしました。

DJ イベントは集客が難しいですが前は新しくできた凄くお洒落な江別蔦屋書店に 50 名来てくれたんですけど、フードコートを借り切ってそこで DJ パーティをさせて頂きました。フードコートなので人が流れるし、聞いていない。でも積極的に営業して子供を巻き込んで、子供に風船を渡して引き寄せて雰囲気出してやりました。EBURI もそうですね。

いっぱいいる先生をスカウトする。ビールパーティもそう。飲み会が楽しい。企画も出るしアイデアも出る。思い出も出来ますからそのために色々なことをこじつけてるところはあります。フライヤー、チケットもその飲み会の延長ですね。それをロゴにしたりとか FB 作ったりとしていました。

・喜茂別の地域おこし隊、木村です。前協力隊の加藤さんがデザイナーで色々面白い提案をされていたのですがそれを一つ一つ形にするのが凄く難しそうでした。でも見ていてなんだか面白いものっていっぱいあるのだなと。でも実現しなくても良いのだというのを聞いて不思議な感覚でした

山崎) 失敗しても別に怒られないじゃないですか。お金を失わなければ。僕はどんどんやったらいいと。やるべきかと思えます。

---

## 【第二部 デザイン講座】

デザインの話に入ります

世の中にはデザインいっぱいあります。消火栓とか文字のデザインも有りますし、あそこの非常口のロゴマークもそうですし、デザインだらけです。

標識だったり、本、チラシ、テレビのテロップ、ロゴ、パッケージ何でもデザインされています。

黒松内町、加藤さん、デザインとは何ですか？

・「それをイメージさせるようなもの」

何となくいい感じですよ。合っています。

言葉だけでは表現できないものを色とかイラストとか文字とか色々な要素を使って伝えるということです。

タイトルが恥ずかしいですが「モテる」というのは僕の解釈として「注目を浴びる」ということを「モテる」と表現しています。

そもそもデザインとは何のためにするか？という注目してもらったり、買ってもらったりのためにデザインするということです。基本的なデザインになりますけども。

気にかけてもらうためにする「モテるデザイン」とは相手のことを考えていると思います。

事例を見てもらいますが、とあるまち、江別でイベントが開催されることになりました。ポスターとチラシ制作の依頼が江別市役所から来ました。こういう概要のプリントを貰いました。もしデザインがなかったらどうなるか？

行政文書のようなチラシになります。これって全然見てもらいえない。

なぜかという読む気がしないから。見る気しないから。誰も気にかけてくれない。モテない。

それでモテるためにデザインしていくのですが、まず今回のイベントはどんなイベントなのかというのをここから読み解いていきます。要はこういうことです。

江別にある EBRI という施設で小学生以下の子供を対象にもものつくり系のワークショップをこの日にやりますよというのが概要です。だから最低限これは使わなきゃいけない。

ポスターと広報物の役割であります。

「モテる」ために更にターゲットは誰なのかと考える。

ターゲットは誰だと思いますか？泊村の浜本さん。

・小学生以下の子供を持つ親御さん。あとは幼稚園、保育園の先生とか教育に携わる関係とかですかね。

一つ大事なことが抜けています。江別のイベントなので江別の小学生に PR すれば良いだけじゃないですか。ですが江別市周辺のって大事なポイントが抜けています。

更に深くターゲットのペルソナって聞いたこと有ると思いますが具体的にターゲットを先ほどの小学生、江別市周辺の小学生と一口に言ってもたくさんパターンが有る。それで更に深いターゲットを考えていきます。で今回、僕の場合は江別に住んでいて EBURI という施設に興味がありそうで、しかも小学校低学年のお子さんが居るお洒落で美人なママというペルソナを置きました。実際、僕の友達の奥さんなんですけど、僕の友達の奥さんならどういデザインなら来てくれるかなと考えます。そういう設定をしました。

おしゃれ美人ママに「モテる＝注目」ためにはどういう風にしたら良いかと考えデザインします。モテたいなとデザインしたのがこれです。

さっきの文字の物をこういう風にデザインしました。ポイントはおしゃれなイラスト、かわいいイラスト、ランダムに配置してワクワクさせる。下の方に講師の情報を入れたのですが市役所からは来ていなかったんですけどもこの情報を入れることによって親御さんはどんな人が先生なのかが分かります。安心してもらうためにこういった情報を追加でデザインしました。

ポスター、チラシはどこに貼られたと思いますか？真狩の平田さん。

- ・小学校とか幼稚園とか親御さんが見るような場所。

正解です。

僕らは今回は小学校、幼稚園、児童会館、スーパー、JR 駅とか配布しました。

モテるために目的、ターゲット、どういう形で配布、貼られるかということも考えてから「モテる」ためにデザインします。という話です。

目を引くデザイン、興味を引くデザインにどんなものがあるのかという事例として、ど一ン百億円。インパクトがある事例ですね。

敬老の日。敬老の日なんだな一という季節のイメージ。

広告で見た人がどんな利益を得られるかとメリットが解りやすい、メリットど一んなチラシとかいろいろパターンがあります。

「モテる」ためにどういうアプローチしていこうかなという方向性をまず考えます。

で、考えました。こういうデザインにしよう。手書きで良いんです。そのあとに素材を考えていきます。

写真とイラストが素材で目に残ると思うのですが、最近は画質良いのでスマホ写真でも全然良いのですがネットで検索したものは使っちゃダメです。商用も沢山有ります。

無料イラストといえば、これ「イラスト屋」さんです。これ皆さんいっぱい使っていると思

います。凄い便利。色々なステーションがあつて超便利なのですが日本中、至る所で使われています。

これは使われ過ぎて逆に目立たなくなっているのではないかなと思っています。あと使うとダサい人と同じって思われるので良くないかと思っています。

イラストのサイトも色々あると思うので注意してください。特に人物は「イラスト屋」を使っているとすぐに分かります。野菜とかは分かりずらいのですが、人は目とか口とか明らかに「イラスト屋」と分かるので注意した方が良いとおもいます。

あとフォントです。書体。

よく皆さんが使われる創英角ポップ体ってあるじゃないですか、あれはスーパーだとぴったりなんです、安売りとか。

あれは使い過ぎるとデザイン自体が安っぽく見えてしまうということが有ります。もっとベーシックなフォントが良いと思います。

あのフォントを使う気持ちも分からないではないですが、書体自体がすでにデザインされた書体なのでデザインされてる書体でデザインした感じとなり、逆にマイナスプロモーションになっているのではないかとデザイナー仲間では撲滅運動実施中でパソコンからアンインストールしようとしています。

創英角ポップ体を使うとこんな感じになります。

たとえばあのカッコいい星野源でさえ、ポップ体を入れた瞬間にくそダサくなるんです。

そのくらい書体のインパクトは大きい。

あとフォントの色と数も大事で書体も一つのデザインの中で三種類くらい。色々な種類があるとごちゃごちゃして、それはまた安っぽくなってしまいます。

また色も絞った方が良い。たとえば星野源さんが「江別の夜」という曲を出してくれたとする。要素が写真と文字なんですけど、分解していくと星野源という文字は丸ゴシックで黄緑、「江別の夜」という曲名はゴシック体で水色、5月9日リリースは明朝体でオレンジ。色も書体もある。これを絞って整えていくとこういう感じになります。

これ全くさっきと同じ要素。

何を変えたのかというと書体の数は1種類にしています。それと「江別の夜」と書いていますが紫の色が写真の中の一部の色をスポイトで取って、その色で着色しています。

あと、揃えることも大事です。揃えるだけでデザインがきれいになっていきます。

たとえば星野源さんの「江別の夜」という曲のフライヤーが出来たら、わざと線を引いてますが全部揃えていきます。

脇とか頭とか全部揃えていくことで、それだけでデザインがきれいになっていきます。

なので揃えること、要素を減らしていくこと、書体というのはデザインで凄い大事になります。

す。ということでまとめです。  
まとめで検索するとこれが出てきます。

まずターゲットを明確にしましょう。ただやみくもに作らないでターゲットを決めましょう。

ターゲットが決まったら手書きの方が良ければ手書きのものにするし、たとえば幼稚園生に向けてなら漢字を使わないとか。ターゲットを決めることで色々やる事が決まってくる。

そしてそのターゲットに興味、インパクトを持たせるのか、メリットを打ち出すのか色々なことを考えていきます。

そして素材を集めます。素材も気をつけます、色にも気をつけます。揃えます。あと客観視をしていきます。自分がこれを貰った時にどう思うだろうと1回作ったあととしてみる。一晩経ってから見ると更に良い。客観視してみるというのが凄い大事です。

よく「とりあえずカッコよくデザインしてよ」とか言われて考えること多いじゃないですか。そういわれたらさっきのことを全部ヒアリングして聞けば良いんです。

ターゲットは誰ですか、目的は何ですか、予算はあるんですか、カッコよくするための理由は何なんですか。

もしかしたら、ターゲットによってはカッコよくする必要がないかもしれない。

なのでターゲットをまずちゃんと聞いてくるということが大事です。

ヒアリングするのが上司だったり、お客さんだったり必ず必要になります。

最近「デザイン思考」ということで注目されていることです。

ご清聴ありがとうございました。

質問：山崎さんの作品の中で道の駅スタンプ帳デザインが斬新だったと思うのですが、すごく子供が持っているのが目立ったと思います。変えるにあたって180度転換していると思いますが拘ったもの、そしてそれは思惑とおりにいったのかということも聞きたい。

答え：今まではすごい広い世代に向けてデザインされていたのかなと北海道エリアというのもそうだし、年齢層も。個人的な思いとしては子育て世代、お父さんだったりお母さんだったり買いたくなったりとか、持っていきたいくなる子供が嬉しくなるものが出来たらいいなと従来の形よりも買うという行為が凄い、僕らからしたら買ってもらうということは大変な事なのでそれをしてもらうために可愛くしていきたいという思いでデザインしました。

山崎) デザインとかする機会ないですか? どういったものをデザインするんですか?



参加者) このまえも入れたんですが、カッコよくする必要がないパンフレットみたいなものが圧倒的に機会が多い。上司はカッコ良さを求めてはいない。

山崎) 「カッコよくない方が良い」という人ですか？

参加者) カッコ良いより分かり易さ重視な上司。あくまでも行政が伝えるものだから。デザイン性を求められていないけれど分かり易く、周知もしたいし、集客もしたいが圧倒的に多く、それよりコア人に周知したいときはデザイン性を重視という感じです。

山崎) 僕はそこはカッコよくても良いのかなと思う。

同じ内容で同じ分かりやすさならデザインが良い方が良いです。

捨てられないじゃないですか。僕らは常に捨てられるという思いでいるので、見て貰えるチャンスは一瞬だと思っているのでカッコ良い方が絶対に良いと思っています。

「イラスト屋」だらけにしてあえてカッコ悪いことをカッコよくする場合にはカッコ悪い方が良いのですが、もし同じ内容で出来るのであればカッコ良いほうが、見た目が良い方が手に取ってもらいやすくなる。

行政の方々がデザインする時に今おっしゃったようにそんなにデザイン性は必要ないんじゃないかとよくいわれますが、時間がないなかで、他の仕事もあるでしょうが市民に向けてのサービスじゃないですか。

市民に分かってもらうようにするにはデザイン性だったりとか分かりやすかったりとか大事かなと思います。

行政の方々にお話したいのが、行政ってなかなか褒めてもらう機会がないじゃないですか、すごく良いことしていても当たり前になっていて。

行政の方々も褒められる、評価される仕組みが出来たらもっと頑張れるのかなと思います。僕はこういった仕事をするまでは行政の方々がどんな仕事をしているか分かっていなかったし、大変さも解らなかった。

でも話を聞くとそれは大変だよと思うこともあってじゃ僕らが出来ることが何かないか？ということで第二市役所という考え方の部分も有ります。

江別を良くするために、役所の人たちと一緒に何かやることも有ります。その時は僕らは前例を作るというか、何かをすれば通りやすくなるとかあるじゃないかと思い、応援しているという立場でやっています。

#### 【終わり挨拶:今井】

山崎さんデザイナーさんなので私達がこういう勉強してすぐにかっこよく、おしゃれに出るかというのは？マークなどところがありますけど、それでもターゲット、目的、予算とい

うことを考えて、山崎さんのお話の中で印象的だったのは「一瞬だよ」という言葉が印象的でしたが、見てもらえるというのは一瞬なんだと、どれだけその人にインパクトを与えられるかということが生き方も、ものの見せ方も何でもそうなのかなとグッと心に来ました。山崎さん、これをご縁に何かロゴを作りたいとかあったら特別価格でやって頂けると思いますので是非、利用して頂ければと思います。

今日はありがとうございました。